

二〇二五年三月二五日

尺角の大黒柱白障子	ぼんこ
大正の舶来シェード春灯	うつぎ
石室の手向けとなりぬ落椿	むべ
下萌やお役目終えし鬼瓦	ぽんこ
昭和なるドールハウスの温かし	わかば
老夫婦句帳を首に梅愛づる	かかし
春風に綾なす池の波の綺羅	えいじ
暖かやへつつひさんは銅づくし	うつぎ
壁紙はモリスデザイン春館	たか子
歴代の吊るし雛舞ふ蔵屋敷	康子
彼女待つ春の時雨の大手門	澄子
多聞より見下ろす濠の春めきぬ	澄子
山茱萸の花にそぼ降る番所趾	むべ
子遍路の松かさ拾ふ奥の院	なつき
大松明先陣法螺はしんがりに	なつき

春時雨石垣のみの天守趾	澄子
立ち並ぶドールハウスは春灯す	よう子
鏡なる水面乱して鳩現るる	むべ
触れたくも触れてはならじ雛調度	うつぎ
海風にほぐるる河津桜かな	康子
館長の饒舌やまぬ雛屋敷	たか子

定例WEB句会みの選

二〇二五年三月二五日